

# 令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

## 佐世保市立天神小学校



〒857-1174

佐世保市天神1丁目11番13号

校長 木下 和弥

児童数 325名（16学級）

（令和4年5月1日現在）

### 1 目的

本校のめざす学校教育目標である「子どもたちと共によく遊び、よく学ぶことにより、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。」の達成を目指す。そのために、次の観点から特色ある学校づくりとしての教育活動を進める。

- (1) 「開かれた学校づくり」の観点から、平和・環境・食育・生き方などのテーマのもと、地域の素材を掘り起こし、「ひと」「もの」「こと」への多様なかかわりの機会を設定する。特に、地域の教育力を活用しながら、主体的に課題を解決していく学習を通して「かかわる力」を高め、他人を思いやる心・美しいものに素直に感動する心・命を尊重する心など豊かな心を育てていくとともに、実際の社会や日常生活の中で活用できる能力を高める。
- (2) 「進んで学ぶ子の育成」の観点から、基礎・基本の確かな定着・学習規律の徹底・個に応じた指導の工夫を図る。特に、本校の学力向上ロードマップをもとに、読解力の育成を図り、書く活動と学び合いを取り入れた授業改善に全職員で取り組む。また、学力向上の取組結果を、年度末の業者テスト導入により検証し、課題を洗い出すとともに、更なる学力向上につなげていく。

### 2 実践内容

- (1) 「開かれた学校づくり」を目指す活動

○天神じまん（3年・通年・天神町内校区）

「天神じまん」では、天神の人、物、場所など、自分たちが知らなかった天神の良さや特色を発見するために、地域の郷土歴史に詳しい地域講師を招き、学習を行った。2回にわたり、地域講師と一緒に地域散策を行った。散策では、古くからある神社や史跡、石碑を見ながら話を聞くことで、神社の由来や町の今と昔の違いなどの歴史を知ることができた。また、散策を通して、天神校区の地形を知り、天神山から見下ろす景色も良さであることを実感することができた。体験を通して児童が主体的に天神のよさについて考え、学習したことをパワーポイントに



【天神じまん】

まとめ発表することができた。自分たちの住む地域の良さについて再確認するとともに、主体的に課題や地域の人達にかかわる力を高めることができた。

#### ○佐世保じまん（3年・2学期・佐世保市内）

「佐世保じまん」では、佐世保の人、物、場所など、佐世保の魅力を発見する学習を行った。佐世保の良いところを家の人にリサーチしたり、観光地のパンフレットを集めたり、インターネットで検索する活動を通して、児童は今まで知らなかった佐世保のよさに気付くことができた。また、ハウステンボスや九十九島の美しさ、海の生き物、洞窟、食べ物等、広く興味関心をもち、調べ活動を行った。調べたことをグループで情報を共有し、模造紙にまとめ発表することで、体験や情報を目的に合わせて再構成する力や、かかわりを深め協力して課題を達成する力が高まった。



【佐世保じまん】

#### ○木育（4年・1学期・学校及び天神山）

地域講師を招き、生き物に関する専門的な話を聞くことができ、児童は興味の幅を広げることができた。自然の中でかくれんぼをした際には、知らぬ間に遊びながら捕食者と被捕食者の立場に分かれていたことに気づき、楽しみながら学習することができた。また、森の中にいる生き物たちを見ついたり、葉を観察したりしながら、児童自らが主体的に生命のつながりについて考え、学ぶことができた。豊かな地域の自然とかわりを深める中で、環境と主体的に関わる力や命の大切さについて学ぶことができた。

#### ○ふるさと環境体験学習（4年・2学期・佐世保市内）

市の事業と組み合わせながら、ふるさと佐世保のよさを体験を通して学ぶ学習を行った。少年科学館では、天文学習やプラネタリウムを体験することで、科学への興味関心を深めることができた。学校の授業ではできないような実験や観察を見せていただいた。また、九十九島パールシーリゾートでの自然体験学習では、自然の素晴らしさを感じ、佐世保のよさに気づくことができた。ふるさと佐世保への愛を深めるとともに、美しい佐世保の自然や環境を守っていこうという思いを高めることができた。

#### ○エコラボ（4年・2～3学期・学校）

地域の企業であるさせばエコラボを招き、学習活動を行った。地球温暖化を知り、その原因や影響について考え、自分たちができる地球温暖化対策防止の取り組みを、ワークショップを通してまとめる活動を行った。また、インタビューの仕方について学習し、様々な企業とインタビューをしてコミュニケーションを取ることもできた。学習したことを、新聞や模造紙にまとめて発表した。学習を通して、様々な人と関わる力を育むとともに、体験や情報を目的に合わせて再構成する力を高めることができた。

#### ○二分の一人式（4年・3学期・学校）

児童がこれまでの10年を振り返り、周りの人に支えてもらいながら成長することができたことへの感謝の気持ちを表す活動を行った。自分新聞を作ったり、保護者に感謝のお手紙を書いたりする活動に取り組む中で、自らの将来について考えるとともに、今まで育ててくれた人々への感謝の気持ちが高まり、命の大切さについて実感することができた。

○佐世保大空襲について調べよう（5年・1学期・学校）

佐世保大空襲について、まず、タブレットや資料を使って当時の生活の様子や空襲の被害などを調べた。そのことで、佐世保で起こった戦争の悲劇についてしっかり認識することができた。また、5/27には語り手の方に来ていただき、当時の様子について話をしていただいた。実際にあったことの話詳しく聞くことで、より身近で起こった出来事だととらえることができた。さらに、6/29の「6.29 平和集会」において、全校に向けて、今まで学習してきたことを発表した。目的意識を持ってまとめることができ、工夫した内容であった。学習を通して、平和の大切さに対する意識が高まるとともに、体験や情報を目的に合わせて再構成する力が高まった。

○長崎原爆について調べよう（5年・2～3学期・長崎市内及び学校）

長崎への平和学習に向けて、原爆資料館から頂いた資料やタブレットを使って、長崎原爆について事前学習を行いながら、調べ学習を進めた。原爆の被害についてしっかり理解するとともに、長崎市への平和学習の目的意識をしっかり持つことができた。また、10/18「平和学習」で長崎原爆資料館を訪ね、平和案内講師の方から展示物についての説明を聞きながら、学習を深めた。平和公園への移動途中の施設などについても説明を受け、実物を見ながら平和について多くの考えを持つことができた。最後に、平和学習の内容を模造紙や工作用紙に工夫しながらまとめることができた。学習を通して、自分たちが平和な世界を作っていくためにできることについて考えを深め、情報を発信していく力を高めていくことができた。



【長崎原爆について調べよう】

○福祉について考えよう（6年・1学期・学校）

学級ごとに福祉の意義、小学生でなぜ考えるのかということについて学習を行った。車いす、点字、ユニバーサルデザインなど自分の興味あるものから調べ始め、ノート、Googleのスライドにて調べ、まとめる活動を行った。その後、近いテーマをもった児童で班活動を行い、学級内で発表を行った。学習を通して、情報機器を取り扱う技能が高まり、助け合いにより人を大切にしていくという思いを高めることができた。

○修学旅行について発表しよう（6年・2学期・福岡・佐賀市内及び学校）

2日間で、自分たちが学習、体験する施設やその場所での活動内容について班ごとに調べ、質問事項の作成や体験できることを確認し、しおりにまとめ、情報を共有した。また、修学旅行で気付きなどを記録し、自分たちの調べた内容と照らし合わせ、Googleのスライド、ドキュメントを用いて発表を行った。発表は授業参観にて、保護者に観ていただき、レイアウトや伝えたい内容、自分たちが得た体験が的確に伝わったかを確認することもできた。学習を通して、課題に主体的にかかわりながら、適切な方法で協力して解決していく力を高めるとともに、様々な人々と関わっていく力を高めることができた。



【修学旅行について発表しよう】

○70周年を迎える学校年表を作ろう（6年・3学期・天神地区・校内）

今年度70回生として卒業するにあたり、戦後、天神小学校が創設されてからの歴史やどのような取り組みが行われたかを自分たちでまとめ、校舎内多目的室に掲示し、地域の方や保護者の方、そして在校生に伝える活動を行った。また、掲示した内容を児童らが自分たちでムービーや、スライドを作成し閲覧できるようにした。学習を通して、自分たちの地域や母校について愛着が深まるとともに、学校のためにできることを行ったという達成感・自己肯定感が高まった。

(2) 「進んで学ぶ子の育成」を目指す活動

○天神小学校学力向上ロードマップの作成及び校内研修の充実（全学年・年間・各教室）

昨年度の学力向上の取組の結果、課題解決のための読解力課題であることが明らかになったため、今年度は、全学年で系統立てて読解力を育成していくため、特に書くことにより力を高めていくことに重点を置きつつ力を高められるよう、学力向上ロードマップを作成し取組を進めた。日々の実践をはじめ、全学年で課題解決に必要な読解力を育むための研究授業を行い、年度末の業者テストにより、その成果を検証した。



【研究授業の様子】